

与信管理及び債権管理、集約化(共同操業)の 現況調査結果について

集約化(共同操業)の現況……………資料 5-1 (P1～P4)

与信管理と債権管理の現況……………資料 5-2 (P5～P13)

共同販売、共同購買、共同輸送等についての取り組みの現況

……………資料 5-3 (P14)

2024 年 10 月 23 日

北海道生コンクリート工業組合
北海道生コンクリート協同組合連合会

集約化(共同操業)の現況

※工場数とは、工場としてシェアを持っているところとし、廃棄工場を含む。また、集約して生コンを生産するためにのみ存在する工場は、工場数に含まない。
 ※稼働工場数には、集約し生コンを生産するためにのみ存在する工場を含む。

注)工場数=(B)+(D)、稼働工場数=(A)+(D)

名簿番号	協同組名 協同組合加入会社数 (注・工場数-内稼働工場数)	稼働工場(A)	会社名	工場	集約工場数(B)	廃棄工場(C)	単独稼働工場(D)
1-1	道南生コンクリート協同組合 (函館支部) 12社 (19工場-5工場) 内廃棄工場数10 (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 未定	○	大野アサノコンクリート(株) 大野アサノコンクリート(株) 七飯アサノ生コンクリート(株) 昭和生コンクリート(株) 平成生コンクリート(株)	大野 恵山]	○ ○ ○ ○	奥尻コンクリート工業(株) 函館 (株)駒井生コン
		○	北海道太平洋生コン(株) 北海道太平洋生コン(株) 北海道太平洋生コン(株) 北海道太平洋生コン(株) 北海道太平洋生コン(株) 會澤高圧コンクリート(株)	函館 大野 村山 開発 七飯 函館		○ ○ ○ ○	
		○	(株)ニレミックス (株)ニレミックス (株)ニレミックス 函館生コンクリート(株) 日鉄鉱道南興発(株) 相互商事(株)	函館 豊原 恵山 函館		○ ○	
	計3工場				計17工場	計10工場	計2工場
1-2	道南生コンクリート協同組合 (南北海道支部) 7社 (14工場-6工場) 内廃棄工場数6 (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 未定	○	吉岡砕石工業(株) 北海道太平洋生コン(株) 北海道太平洋生コン(株) ※北海道太平洋生コン(株)	木古内 知内 函館]	○	奥尻コンクリート工業(株) (株)工藤生コン
		○	北海道太平洋生コン(株) 北海道太平洋生コン(株) (株)ニレミックス	松前 福島 松前		○ ○	
		○	北海道太平洋生コン(株) (株)ニレミックス (株)カイト	江差 上の国		○	
		○	和工生コンクリート(株) (株)ニレミックス 北海道太平洋生コン(株)	北桧山 北桧山		○ ○	
	計4工場				計12工場	計6工場	計2工場
1-3	道南生コンクリート協同組合 (北渡島支部) 5社 (9工場-2工場) 内廃棄工場数4 (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 未定	○	(株)ニレミックス (株)ニレミックス 北海道太平洋生コン(株) 越智化成(株)	八雲 長万部 長万部 長万部]	○ ○	
		○	大野アサノコンクリート(株) 大野アサノコンクリート(株) 北海道太平洋生コン(株) 北海道太平洋生コン(株) (株)上田商会	鹿部 森 八雲 森 砂原		○ ○	
	計2工場				計9工場	計4工場	
2	札幌生コンクリート 協同組合 20社 (30工場-22工場) 内廃棄工場数1 内休止工場数2 内集約工場数5 (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 未定	○	山田産業(株) (株)正菱]	○	會澤高圧コンクリート(株) 菊水 會澤高圧コンクリート(株) 清田 會澤高圧コンクリート(株) 白石 會澤高圧コンクリート(株) 石山 (株)旭ダンケ 札幌 岡本興業(株) 札幌生コン(株) 太平洋建設工業(株) 太陽生コン(株) 東洋コンクリート(株) 北央 東洋コンクリート(株) 銭函 (株)ニレミックス 札幌 (株)ニレミックス 丘珠 (株)野田生コンクリート 札幌 北海道デンカ生コンクリート(株) (株)ホッコン 札幌 (株)ホッコン 石狩
		○	(株)ハタナカ昭和 會澤高圧コンクリート(株) 大世紀建設(株)	札幌 屯田 屯田生コン			
		○	(株)北海道宇部 協同生コン(株)	札幌 江別			
		○	北海道太平洋生コン(株) 太平洋レミコン(株)	札幌 手稲			
		○	(株)旭ダンケ 開進コンクリート工業(株)	米里 銭函			
			(株)ホッコン (株)ニレミックス	江別 北広島		休止 休止	
	計5工場				計13工場	計1工場	計17工場
3	小樽地区生コンクリート 協同組合 7社 (8工場-5工場) 内廃棄工場数3 (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 未定		北海道太平洋生コン(株) 新日本生コン(株) (株)ニッケー	余市 本社 本社]	○ ○	北海道太平洋生コン(株) 小樽 道南生コン(株) 仁木 (株)田村工業 赤井川
		○	(株)北海道宇部 (株)ニレミックス	小樽 小樽		○	
	計2工場				計5工場	計3工場	計3工場
4	後志生コンクリート 協同組合 9社 (9工場-6工場) 内廃棄工場数2 (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 集約化完了	○	恵庭アサノコンクリート(株) (株)上田商会	蘭越 後志]	○	日鉄鉱道南興発(株) 倶知安 (株)加藤建設工業 本社 寿都生コン(株) 寿都
		○	(株)倶知安コンクリート工業所 會澤高圧コンクリート(株)	旭 旭		○	
		○	道南生コン(株) (株)北海建業	羊蹄 本社		○	
	計3工場				計6工場	計2工場	計3工場

集約化(共同操業)の現況

※工場数とは、工場としてシェアを持っているところとし、廃棄工場を含む。また、集約して生コンを生産するためにのみ存在する工場は、工場数に含まない。
 ※稼働工場数には、集約し生コンを生産するためにのみ存在する工場を含む。

注)工場数=(B)+(D)、稼働工場数=(A)+(D)

名簿番号	協同組名 協同組合加入会社数 (注・工場数-内稼働工場数)	稼働工場(A)	会社名	工場	集約工場数(B)	廃棄工場(C)	単独稼働工場(D)
5	岩宇生コンクリート 協同組合 5社 (5工場-2工場) 内廃棄工場なし (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 集約化完了	○	株式会社 磯田村工業 北海道宇部 北海道太平洋生コン(株)	後志 岩内]		
		○	株式会社 磯北興生コン 北海道生コン工業(株)	共和 岩内]		
		計2工場			計5工場	-	-
6	西胆振生コンクリート 協同組合 7社 (8工場-4工場) 内廃棄工場数3 (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 集約化完了	○	日鉄鉱道南興発(株) 室蘭生コンクリート(株)	虻田 伊達]		
		○	日本興発(株) 日本興発(株)	社管 豊浦]	○	
		○	株式会社 ケイホク 株式会社 ウエスト胆振 株式会社 東浜コンクリート工業所 越智化成(株)	伊達 豊浦 本社 伊達]]	○
		計4工場			計8工場	計3工場	計1工場
7	室蘭生コンクリート 協同組合 6社 (7工場-4工場) 内廃棄工場数2 (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 未定	○	昭和生コン(株) エス昭和コンクリート(株)]	○	株式会社 ケイホク室蘭生コンクリート
		○	室蘭生コンクリート(株) 日鉄鉱道南興発(株)]	○	
		○	株式会社 アサノ・ウエダ生コン 株式会社 アサノ・ウエダ生コン	幌別 室蘭]		
計3工場			計6工場	計2工場	計1工場		
8	苫小牧生コンクリート 協同組合 13社 (18工場-7工場) 内廃棄工場数9 (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 2024年度 実績1	○	會澤高圧コンクリート(株) 會澤高圧コンクリート(株) 北海道太平洋生コン(株) 北海道宇部 ダイカ生コン(株)	鶴川 苫小牧 苫小牧 苫小牧 本社]	○	大翔興業(株)
		○	株式会社 ケイホク 株式会社 ニレミックス 北海道菱光コンクリート(株)	苫小牧 苫小牧 苫小牧]	○	
		○	越智化成(株) アサヒ生コン(株) 錦岡コンクリート(株)	苫小牧 本社 本社]	○	
		○	會澤高圧コンクリート(株) さんこうレミコン(株) 株式会社 三共	白老 本社 本社]	○	
		○	株式会社 ケイホク 株式会社 ケイホク 越智化成(株)	飛生 白老 白老]	○	
		計6工場			計17工場	計9工場	計1工場
		9	日高生コンクリート 協同組合 8社 (12工場-10工場) 内廃棄工場数2 (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 2023年度 実績1	○	南大和コンクリート工業 南門別コンクリート興業	本社 本社]
○	會澤高圧コンクリート(株) 株式会社 ハタナカ昭和			静内 新冠]	○	
計2工場					計4工場	計2工場	計8工場
10	千歳地区生コンクリート 協同組合 10社 (10工場-6工場) 内廃棄工場なし (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 未定	○	會澤高圧コンクリート(株) 追分コンクリート工業(株)	千歳 追分]		株式会社 ニレミックス 千歳 北海羽田コンクリート(株) 長沼 地崎道路(株) 千歳
		○	恵庭アサノコンクリート(株) 古谷コンクリート工業(株)	恵庭 本社]		
		○	太陽生コン(株) アサヒ生コン(株) 株式会社 北海道宇部	千歳 千歳 北広島]		
		計3工場			計7工場	-	計3工場
11	道央生コンクリート 協同組合 6社 (6工場-6工場) 内廃棄工場なし (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 未定	-			-	-	太陽生コン(株) 月形 株式会社 ハタナカ昭和 岩見沢 株式会社 第一コンクリート工業所 栗山 株式会社 美唄コンドウ 美唄 株式会社 コンドウ生コンクリート 岩見沢 東洋コンクリート(株) 由仁
		-			-	-	計6工場

集約化(共同操業)の現況

※工場数とは、工場としてシェアを持っているところとし、廃棄工場を含む。また、集約して生コンを生産するためにのみ存在する工場は、工場数に含まない。
 ※稼働工場数には、集約し生コンを生産するためにのみ存在する工場を含む。

注)工場数=(B)+(D)、稼働工場数=(A)+(D)

名簿番号	協同組合名 協同組合加入会社数 (注・工場数-内稼働工場数)	稼働工場(A)	会社名	工場	集約工場数(B)	廃棄工場(C)	単独稼働工場(D)			
12	空知生コンクリート 協同組合 7社 (8工場-2工場) 内廃棄工場数6 (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 集約化完了	○	㈱上田コンクリート工業所	滝川	}	○	なし			
			不二建設㈱	滝川						
			㈱コスモ生コン	滝川						
			㈱コネック滝川(上記3社の生産会社)	滝川						
○	旭川アサノコンクリート㈱	秩父別	}	○	○					
㈱ホッコン	深川									
㈱キョウコン	滝川									
○	越智化成㈱	滝川			○					
		計2工場			計8工場	6工場				
13	釧路生コンクリート 協同組合 13社 (19工場-4工場) 内廃棄工場数2 (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 2023年度 実績1	○	㈱釧路宇部	本社	}		太平洋レミコン㈱ 弟子屈 河野探石工業㈱			
			栄興宇部コンクリート工業㈱	本社						
			大栄商事㈱	本社						
			3社は釧路生コン(生産工場)へ製造委託							
			三ツ輪ベントス㈱	根室				}		
			太平洋建設工業㈱	根室						
			東部開発㈱	根室						
			○	太平洋富士生コン㈱				釧路	}	○
太平洋建設工業㈱	本社									
太平洋レミコン㈱	釧路									
○	白糠生コン㈱	本社	}	○						
東部開発㈱	本社									
2社は釧白生コン(生産工場)へ製造委託										
○	三ツ輪ベントス㈱	厚岸	}							
太平洋建設工業㈱	浜中									
○	2社は厚岸共同生コン(生産工場)へ製造委託									
○	㈱三ツ輪商会	本社	}							
三ツ輪ベントス㈱	釧路									
㈱タチノ	釧路									
○	大進生コン(生産工場)へ製造委託									
○	2社は大進タチノ生コン(生産工場)へ製造委託									
		計2工場	(製造委託工場は含まず) 計17工場		計2工場		計2工場			
14	北根室生コンクリート 協同組合 8社 (8工場-5工場) 内廃棄工場数3 (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 未定	○	太平洋建設工業㈱	羅臼	}	○	開盛コンクリート㈱ 中標津コンクリート工業㈱			
			羅臼生コンクリート㈱							
			2社は羅臼共同生コン(生産工場)へ製造委託							
			○	㈱釧路宇部				中標津	}	○
			別海宇部コンクリート工業㈱	中標津						
○	太平洋レミコン㈱	標津	}	○						
太平洋富士生コン(生産工場)へ製造委託										
○	2社は太平洋富士生コン(生産工場)にて共同操業									
		計3工場	(生産委託工場は含まず) 計6工場		計3工場		計2工場			
15	北見地方生コンクリート 協同組合 7社 (13工場-10工場) 内廃棄工場数3 (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 未定	○	三ツ輪ベントス㈱	北見	}	○	佐呂間開発工業㈱ 太平洋レミコン(網走) 網走 ㈱北見宇部 美幌 ㈱北見宇部 大雪 ㈱旭ダンケ 美幌 大成工業(ウトロ) 太平洋レミコン(北見)			
			㈱北見宇部	本社						
			2社は㈱エム・ユー生コン(生産工場)へ生産委託							
			○	大成工業㈱				本社	}	○
			北海羽田コンクリート㈱							
○	2社は㈱知床生コン(生産工場)へ生産委託									
○	三ツ輪ベントス㈱	網走	}	○						
㈱北見宇部	網走									
○	2社は㈱エム・ユー生コン網走(生産工場)へ生産委託									
		計3工場	(生産委託工場は含まず) 計6工場		計3工場		計7工場			
16	紋別地方生コンクリート 協同組合 9社 (8工場-7工場) 内廃棄工場数2 (2022年(令和4年)以降の集約化の実績及び計画) 未定	○	㈱協和土木工業	はまなす・エムケー生コン	}	○	㈱渡辺興業 豊里 ㈱ホッコン 北見 ㈱藤共工業 興部生コン(共) 雄武レミコン(共) 共同生コン(共)			
			はまなす生コンクリート工業(共)							
		計1工場	生産委託工場(※)は含まず		計2工場	計2工場	計6工場			
17	十勝地方生コンクリート 協同組合 11社 (12工場-7工場) 内廃棄工場なし (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 2023年度 実績4	○	石野コンクリート工業(共)	札内	}		㈱旭ダンケ 道東支店帯広 帯広協同コンクリート(共) 高嶋コンクリート工業(共)			
			越智化成(共)	帯広						
			○	十勝豊成コンクリート製品(共)						
			○	ケイオーコンクリート						
			○	太平洋建設工業(共)				帯広	}	
太平洋レミコン(共)	東帯広									
○	㈱タチノ	南帯広	}							
㈱タチノ	西帯広									
○	㈱ハタナカ昭和	音更生コン								
		計4工場			計9工場	-	計3工場			
18	南十勝生コンクリート 協同組合 5社 (5工場-3工場) 内廃棄工場なし (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 集約化完了	○	日勝レミコン(共)		}		大樹生コンクリート(共) ㈱タチノ大樹			
			十勝生コンクリート(共)							
		計1工場	(稼働工場3社に生産委託)		休業		計2工場			

集約化(共同操業)の現況

※工場数とは、工場としてシェアを持っているところとし、廃棄工場を含む。また、集約して生コンを生産するためにのみ存在する工場は、工場数に含まない。
 ※稼働工場数には、集約し生コンを生産するためにのみ存在する工場を含む。

注)工場数=(B)+(D)、稼働工場数=(A)+(D)

名簿番号	協同組合名 協同組合加入会社数 (注・工場数-内稼働工場数)	稼働工場(A)	会社名	工場	集約工場数(B)	廃棄工場(C)	単独稼働工場(D)
19	西十勝生コンクリート協同組合 3社 (3工場-3工場) 内廃棄工場なし (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 集約化完了						㈱サカキ建設工業 御影コンクリート 大進生コン(株) 田村コンクリート(株)
		-			-	-	計3工場
20	北東十勝生コンクリート協同組合 4社 (4工場-4工場) 内廃棄工場数1 (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 未定		永井工業(株)※閉鎖	浦幌		○	本別コンクリート工業(株) 道東コンクリート(株) 上士幌生コンクリート(株) 太平洋レミコン(株) 浦幌
		-			-	計1工場	計4工場
21	旭川地方生コンクリート協同組合 11社 (11工場-7工場) 内廃棄工場なし (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 未定	○	㈱旭ダンケ 愛別生コン(株) 北海道太平洋生コン(株)	旭川 旭川]		旭川宇部協同生コン(株) 三共宇部生コン(株) ㈱野田生コンクリート ㈱ノムラ
		○	旭川アサノコンクリート(株) ㈱コスモ生コン	旭川 旭川]		
		○	越智化成(株) ㈱ホッコン	比布 旭川]		
		計3工場			計7工場	-	計4工場
22	富良野地区生コンクリート協同組合 6社 (6工場-3工場) 内廃棄工場なし (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 未定	○	㈱ホッコン	富良野]		㈱瑞穂コンクリート
		○	越智化成(株) 北海道太平洋生コン(株) 恵庭アサノコンクリート(株) 道瑛コンクリート工業(株)	富良野 中富良野 富良野]		
		計2工場			計5工場	-	計1工場
23	上川北部生コンクリート協同組合 7社 (8工場-4工場) 内廃棄工場数4 (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 2023年度 実績3		名寄生コンクリート(株) ㈱真鍋コンクリート ㈱名寄高圧コンクリート興業]	○ ○ ○	名寄生コンクリート(株) 天塩川 山一興業(株)
		○	3社は㈱ひまわり(生産工場)へ生産委託 北海アサノロックラー(株) ㈱野田生コンクリート 和寒コンクリート(株)	士別 士別]	○	
		○	3社は㈱アサヒダンケ旭川支店へ生産委託 (生産委託工場は含まず)]		
		計2工場			計6工場	計4工場	計2工場
24	上川中部生コンクリート協同組合 2社 (2工場-2工場) 内廃棄工場なし (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) なし						旭川宇部協同生コン(株) 上川 ㈱セキホク
		-			-	-	計2工場
25	留萌地方生コンクリート協同組合 6社 (9工場-5工場) 内廃棄工場数 (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) なし	○	㈱ホッコン ㈱ハタナカ昭和 留萌アサノコンクリート(株) 北海道太平洋生コン(株) 留萌アサノコンクリート(株)	留萌 増毛 増毛 留萌]		㈱ホッコン 羽幌 藤コンクリート(株) 遠別 藤コンクリート(株) 天塩 協栄コンクリート工業(株)
		計1工場			計5工場	-	計4工場
26	南宗谷生コンクリート協同組合 4社 (5工場-4工場) (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 未定	○	㈱安田 オホーツク生コン(株)]		丹羽商事(株) ㈱hokubu 本社 ㈱hokubu 浜頓別
		計1工場			計2工場	-	計3工場
27	宗谷生コンクリート協同組合 4社 (7工場-6工場) 内廃棄工場数なし (2023年(令和5年)以降の集約化の実績及び計画) 未定	○	藤コンクリート(株) 名寄生コンクリート(株)	豊富 サロベツ]		藤コンクリート(株) 天北 藤コンクリート(株) 礼文 ㈱利尻生コン 鬼脇 ㈱利尻生コン 沓形 丹羽商事(株)
		計1工場			計2工場	-	計5工場

与信管理と債権管理の現況

北海道生コンクリート協同組合連合会

※二重下線部分が前年調査時から変更されているもの

2024年10月23日

方 式		1	2	3	
協組名		登録販売店方式	卸協組・登録販売店方式	販売店方式	
項目	協組名	道南生コンクリート協同組合	札幌生コンクリート協同組合	小樽地区生コンクリート協同組合	
登 録 条 件		推薦保証制 8社	生コン卸協組会員 大手・準大手商社	毎年度末現在、登録販売店の資格があり、かつ組合員が推薦する販売店	
保証システム	販売店の保証金	差入最高保証金額	8億9,000万円	2億円	7億円
		差入最低保証金額	1,940万円	8,000万円	3,000万円
		現行の差入保証額		2億円×1 1億5,000万円×1 1億3,000万円×1 8,000万円×1	7億円×1社 4億円×1社 1億5,000万円×1社 1億円×1社 8,000万円×1社 7,000万円×1社 3,000万円×2社
		差入保証金の種類	銀行差入保証書	銀行保証・定期預金	銀行保証書又は現金
	推薦組合員の保証金(連帯保証)	保証額	1,000万円/シェア(基数一)	なし	なし
	生協組合員の保証金	保証額	なし	なし	500万円/1社
その他			一部の生協組合員は、登録販売店の与信額(保証金を除いて)を連帯保証している。		
与信限度額	算出方法	①当該年度需要想定数量×2/12ヶ月(支部毎・地区毎) ②三支部合計の過去3ヶ年の平均数量(2ヶ月間)とピーク時2ヶ月間からピーク時の係数を算出 ③ ①×②(50%)×販売店仕切価格(支部毎・地区毎)=基本保証金 ④ 支部毎・地区毎に②の方法で販売店固有のピーク時係数を算出 ⑤ ①の平均数量に④のピーク時係数と販売仕切価格(支部毎・地区毎)を乗じてピーク時の売上金額を算出 ⑥ 年間通して③の基本保証金を、又、7～12月の間⑤と③の差額を差し入れる	卸協組: 各組合員の保証金×2.5 登録販売店: 保証金(組合員の連帯保証金を含む)=与信限度額	銀行保証金(販売店が直近2カ月間における売上額を想定した金額)	
与信限度枠内の回収条件	手 形	なし	月末締切翌々々々月末末日(回収率0%)	平成30年4月1日から手形支払い廃止	
	現 金	100%現金(遅延損害金、日歩3銭)	月末締切翌月25日回収(回収率100%)	月末締め売上金を翌月25日現金払い	
	金 利	前納金利0%(R5より廃止)	前納補填1.5%	金利補填は現金支払い分に65日の金利補填とし、算出率は年2.0%とする。	
超過分	与信限度超過の取引	与信限度超過前に与信残のある販売店へ振替	原則なし	銀行保証金の積み増し若しくは他の販売店へ変更	
	与信限度超過の支払条件	現金	即現金回収		
その他	契 約 の 更 新	毎年4月更改(3か月前までに意思表示がない場合は1年自動更新)	毎年	自動更新	
	その他特筆事項				

与信管理と債権管理の現況

北海道生コンクリート協同組合連合会

※二重下線部分が前年調査時から変更されているもの

2024年10月23日

方 式		4		5		6	
項目	協組名	後志生コンクリート 協同組合	岩宇生コンクリート 協同組合	西胆振生コンクリート 協同組合			
	登 録 条 件	登録販売店 9社	登録販売店 <u>7社</u>	登録販売店 7店			
保証システム	販売店の保証金	差入最高保証金額	制限なし	制限なし	上限なし		
		差入最低保証金額	1社3,000万円	2,000万円	1社2,000万円		
		現行の差入保証額	最低保証金3,000万円(与信限度により任意で積み増し)	2,000万円～ <u>上限なし</u>	2,000万円～上限なし		
		差入保証金の種類	銀行支払保証書	銀行保証書	銀行支払保証書		
	推薦組合員の保証金(連帯保証)	保証額	なし	なし	なし		
	生協組合員の保証金	保証額	なし		なし		
	その他						
与信限度額	算 出 方 法		<u>差入保証金額まで</u>	差入保証額まで			
	手 形				月末締、翌日起算3カ月決済 (50%)		
与信限度枠内の回収条件	現 金	月末締、翌月25日払 (100%)	月末締め請求 翌月20日現金払	月末締、翌月20日払(50%)			
	金 利		生コンクリート1m ³ /70円	なし			
	超 過 分	与信限度超過の取引			現金取引		
	与信限度超過の支払条件		翌月20日前に入金もしくは、他登録販売店への変更	締後、翌月20日払			
その他	契 約 の 更 新		1年	一年更新(3月末までに、新年度分の差入保証書を提出)			
	その他特筆事項						

与信管理と債権管理の現況

北海道生コンクリート協同組合連合会

※二重下線部分が前年調査時から変更されているもの

2024年10月23日

方 式		7		8		9	
項目		販売店方式		生コン組合～生コン卸協同組合協同販売方式		販売店・直販方式	
協組名		室蘭生コンクリート協同組合		苫小牧生コンクリート協同組合		日高生コンクリート協同組合	
登 録 条 件		登録販売店 8社				販売店 4社	
保証システム	販売店の保証金	差入最高保証金額	限度なし	1億5,000万円	なし		
		差入最低保証金額	1,000万円	5,000万円	なし		
		現行の差入保証額	1,000万円以上	5億8,000万円	なし		
		差入保証金の種類	銀行支払保証	銀行保証	なし		
	推薦組合員の保証金(連帯保証)	保証額	なし	生コンクリート卸協同組合1億円			
	生協組合員の保証金	保証額	なし	生コンクリート協同組合1億円	中小企業事業団 倒産防止共済掛金1口		
	その他						
与信限度額	算 出 方 法		差入保証額まで	差入保証金額+5,000万円			
	手 形		月末締、翌月20日までに決済(手形サイトは120日)	3か月	なし		
与信限度枠内の回収条件	現 金		個別契約で別途取り決めた場合は現金でも可	3か月	20日・25日・月末締、翌月20日～月末払い(100%)		
	金 利		期日に完済できない場合は年率14.6%を損害金として徴収	年率3%	なし		
	超 過 分		与信限度超過の取引	保証金の積み増し又は現金による取引	現金取引		
		与信限度超過の支払条件	翌月25日までに決済	3か月			
その他	契 約 の 更 新		平成18年度更改 有効期間満了1カ月前に申し出のない場合は自動延長	契約内容に変更なければ次年度更新	販売店・直販は継続契約		
	そ の 他		その他特筆事項	<u>※次年度より現金取引に変更予定で交渉中</u>			

与信管理と債権管理の現況

北海道生コンクリート協同組合連合会

※二重下線部分が前年調査時から変更されているもの

2024年10月23日

方 式		10		11		12	
項目		販売店方式		—		販売店方式	
協組名		千歳地区生コンクリート協同組合		道央生コンクリート協同組合		空知生コンクリート協同組合	
登 録 条 件		組合員推薦				販売店 4社	
保証システム	販売店の保証金	差入最高保証金額	制限なし		9,000万円		
		差入最低保証金額	制限なし		5,000万円		
		現行の差入保証額	<u>10億7,000万円</u>		<u>2億4,500万円</u>		
		差入保証金の種類	銀行保証・現金		銀行支払保証書		
	推薦組合員の保証金(連帯保証)	保証額	なし		なし		
	生協組合員の保証金	保証額	組合員1社1,000万円の保証契約による連帯保証		なし		
	その他		組合員は売上数量に対し、毎月100円/m ³ を3年間積立				
与信限度額	算 出 方 法	差入保証金額の倍額		保証金の倍額			
	手 形	なし					
与信限度枠内の回収条件	現 金	月末締、翌月25日支払		月末締、翌月20日(100%)			
	金 利	年利2%		なし			
	超 過 分	与信限度超過の取引	現金		原則なし		
	与信限度超過の支払条件	前払		前払い			
そ の 他	契 約 の 更 新	毎年4月更改、変更ない場合は1年間更新		毎年4月改定			
	そ の 他 特 筆 事 項						

与信管理と債権管理の現況

北海道生コンクリート協同組合連合会

※二重下線部分が前年調査時から変更されているもの

2024年10月23日

方 式		完全共同販売方式	直販方式	協組認定方式	
項目	協組名	釧路生コンクリート 協同組合	北根室生コンクリート 協同組合	北見地方生コンクリート 協同組合	
登 録 条 件			なし	なし	
保証システム	販売店の保証金	差入最高保証金額	推薦組合員が連帯保証する		
		差入最低保証金額	推薦組合員が連帯保証する		
		現行の差入保証額	推薦組合員が連帯保証する		
		差入保証金の種類	推薦組合員が連帯保証する		
	推薦組合員の保証金(連帯保証)	保証額	3,000万円(1社当たり)×13社		
	生協組合員の保証金	保証額	3,000万円(1社当たり)×13社	600万円/1社積立	
	その他			出荷販売工場が積立金600万円を当て、超えた部分は出荷販売工場が負担する。	
与信限度額	算 出 方 法	差入保証金の2倍(登録契約販売店)	なし	最終的に理事会にて決定	
与信限度枠内の回収条件	手 形	振出日起算90日	月末締、翌日起算90日～120日(80%)	月末締、翌日起算60日～120日サイトで回収	
	現 金	翌月末振込	〃(20%)		
	金 利				
超過分	与信限度超過の取引	与信限度をオーバーした金額の1/2を差し入れ保証する	なし	現金取引、もしくは手形サイト短縮	
	与信限度超過の支払条件	現金支払い			
その他	契 約 の 更 新				
	その他特筆事項				

与信管理と債権管理の現況

北海道生コンクリート協同組合連合会

※二重下線部分が前年調査時から変更されているもの

2024年10月23日

方 式		16		17		18	
協組名		販売店・直販方式		特約販売店方式		—	
項目		紋別地方生コンクリート協同組合		十勝地方生コンクリート協同組合		南十勝生コンクリート協同組合	
登 録 条 件		なし		理事長と契約		なし	
保証システム	販売店の保証金	差入最高保証金額		7,000万円		なし	
		差入最低保証金額		なし			
		現行の差入保証額		7,000万円			
		差入保証金の種類		銀行支払保証書			
	推薦組合員の保証金(連帯保証)	保証額		なし			
	生協組合員の保証金	保証額	300万円/1工場積立	なし			なし
	その他			なし			
与信限度額	算 出 方 法			なし		なし	
	手 形			当月末締・起算の120日 (翌月末起算90日)		月末締、翌日起算120日	
与信限度枠内の回収条件	現 金			当月末締、翌月末		月末締、翌月20日払	
	金 利			なし			
	超 過 分	与信限度超過の取引		現金		なし	
	与信限度超過の支払条件		現金				
その他	契 約 の 更 新			毎年4月1日(手続き3月末)			
	その他特筆事項					協組が一括受注している	

与信管理と債権管理の現況

北海道生コンクリート協同組合連合会

※二重下線部分が前年調査時から変更されているもの

2024年10月23日

方 式		19	20	21
項目	協組名	直販・販売店方式	登録特約販売店委託販売契約	卸商組合方式と販売店方式
		西十勝生コンクリート協同組合	北東十勝生コンクリート協同組合	旭川地方生コンクリート協同組合
	登 録 条 件	なし	各工場の指定販売店	組員推薦販売店 11社
保証システム	販売店の保証金	差入最高保証金額	なし	卸商組合:なし(卸商組合が管理) 販売店:1社1億円
		差入最低保証金額	なし	
		現行の差入保証額	なし	銀行保証 2千万円
		差入保証金の種類	なし	販売店:銀行保証書
	推薦組員の保証金(連帯保証)	保証額	なし	なし
	生協組員の保証金	保証額	なし	なし
	その他		なし	卸商組合:卸商組合が管理する組員の銀行保証書または卸商組合名義の預金
与信限度額	算 出 方 法	なし		
与信限度枠内の回収条件	手 形	月末締、翌日起算90日以内		なし
	現 金	20日・25日・月末締め、翌月20日～月末払・翌々月10日払		月末締、翌月末払(100%)
	金 利	なし		
超過分	与信限度超過の取引	なし		
	与信限度超過の支払条件			
その他	契 約 の 更 新			毎年4月定期更改
	その他特筆事項			

与信管理と債権管理の現況

北海道生コンクリート協同組合連合会

※二重下線部分が前年調査時から変更されているもの

2024年10月23日

方 式		22	23	24	
項目	協組名	登録販売店方式 富良野地区生コンクリート 協同組合	登録販売店方式 上川北部生コンクリート 協同組合	販売店方式 上川中部生コンクリート 協同組合	
	登 録 条 件	組合員推薦販売店 6社	組合員の推薦	<u>3店</u>	
保証システム	販売店の保証金	差入最高保証金額	<u>5,200万円</u>	一律5,000万円 なし	
		差入最低保証金額	4,000万円	1,000万円	
		現行の差入保証額	各店個別	一律5,000万円	1,000万円
		差入保証金の種類	銀行支払保証書	金融機関の支払保証	銀行支払保証書
	推薦組合員の保証金(連帯保証)	保証額	なし	推薦組合員が推薦保証(連帯保証)	
	生協組合員の保証金	保証額	なし	なし	
	その他			販売店は売上数量に対して <u>400円/m³</u> 追加保証積立	
与信限度額	算 出 方 法	過去5年間の取引額の30分の1	2カ月分の取扱数量相当額	過去及び将来の数量を想定し、決定	
与信限度枠内の回収条件	手 形	なし			
	現 金	月末締、翌月25日払(100%)	月末締、翌月末払(100%)	月末締、翌月末払(100%)	
	金 利				
超過分	与信限度超過の取引	なし	別途協議	他の販売店へ振替等、別途協議	
	与信限度超過の支払条件	追加銀行支払保証書または現金	別途協議	全て現金決済	
その他	契 約 の 更 新	1年毎4月に更新	毎年4月に更新	毎年12月に更新	
	その他特筆事項				

与信管理と債権管理の現況

北海道生コンクリート協同組合連合会

※二重下線部分が前年調査時から変更されているもの

2024年10月23日

方 式		25	26	27
協組名		販売店直売方式	—	販売店・直販方式
項目	協組名	留萌地方生コンクリート協同組合	南宗谷生コンクリート協同組合	宗谷生コンクリート協同組合
登 録 条 件		組合員の推薦		なし
保証システム	販売店の保証金	差入最高保証金額	なし	なし
		差入最低保証金額	なし	
		現行の差入保証額	なし	
		差入保証金の種類	なし	
	推薦組合員の保証金(連帯保証)	保証額	なし	なし
	生協組合員の保証金	保証額	なし	なし
	その他		なし	
与信限度額	算 出 方 法		なし	なし
与信限度枠内の回収条件	手 形		なし	
	現 金	月末締、翌月末払(100%)	なし	
	金 利		なし なし	
超過分	与信限度超過の取引		なし	なし
	与信限度超過の支払条件		なし	
その他	契 約 の 更 新		なし	
	その他特筆事項		なし	

共同販売、共同購買、共同輸送等についての取組みの現況

2024年10月23日

北海道生コンクリート協同組合連合会

状況の項目	共同販売 (生コン以外の共同販売) についての実施状況	共同購買 (原材料)についての 実施状況	共同輸送 (生コン輸送)についての 実施状況	その他共同事業 (技術等研修会等、共同検査、共同試験等) についての実施状況	
	実施協同組合 実施内容	実施協同組合 実施内容	実施協同組合 実施内容	実施協同組合 実施内容	
1	-	-	上川中部生コンクリート協同組合 配車がタイトな時に情報交換を密に行い融通する。	道南生コンクリート協同組合 ・「依頼試験有料化」を実施 ・「コンクリート試験員認定試験」を実施 ・道南地区生コンクリート品質管理連絡協議会で、「現場視察研修会」を開催 ・道南地区生コンクリート品質管理連絡協議会で、「コンクリート技術講習会」を開催	札幌生コンクリート協同組合 技術委員会において品質管理監査等を実施している。
	-	-	-	室蘭生コンクリート協同組合 8月に品質管理監査を実施	苫小牧生コンクリート協同組合 技術委員会において品質管理監査を実施
3	-	-	-	十勝地方生コンクリート協同組合 技術等研修会実施	西十勝生コンクリート協同組合 技術研修会の開催
	-	-	-	上川中部生コンクリート協同組合 特殊配合の場合、共同試験を行うことが有	

以上